

報道関係 各位

株式会社アドバンテスト

マレーシアのボルネオ島で 4回目の森林保全活動を実施



株式会社アドバンテスト(本社:東京都千代田区 社長:丸山利雄)は、11月28日から30日までの3日間、マレーシアのボルネオ島にあるエコ・フォレストパーク(サバ州コタ・キナバル市近郊)において、4回目となる森林保全活動を実施いたしました。

当社は、2004年度から2006年度までに計3回、同パークにおいて、総面積30ヘクタールにフタバガキの苗木7,500本を植林。しかし、2006年度に実施した第3回目の植林地では、少雨による水不足や、周辺地域の開発で棲家を追われたリスによる食害などで、苗木の95%が枯死する事態となりました。そこで、4回目となる今回は、第3回目の植林地に、フタバガキ種の中でも、より動物の食害リスクの低い苗木を約1,000本植えた他、すでに定着した苗木のメンテナンス作業を行いました。

なお、今回の活動には、計21名の当社グループ社員が、ボランティア休暇を利用するなどして参加いたしました。

当社は今後も、地球環境保全のため、多面的かつ総合的な活動を展開し、企業としての責任を果たすと共に、社会に貢献してまいります。

<活動の概要>

目的: 商業伐採などで激減した熱帯林の再生支援活動を通じ、地球環境保全に寄与

内容: 2004年度から3年間で実施した地域に、より多くの苗を定着、生育させるため、メンテナンス活動、および再植林を実施

場所: マレーシア 東マレーシア(ボルネオ島)

サバ州 コタ・キナバル市 キナルルート地区 エコ・フォレストパーク

※本ニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報であり、時間の経過または様々な事象により予告無く変更される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。